

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団活動事業			会計	款	項	目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、消防団	意図	消防団員のスキルを向上させ、地域住民が安心して暮らせる街作りを構築する
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・火災等災害に対する出動 ・技術向上のための各種訓練 			
事業開始から現在までの状況変化	消防団は地域のボランティアとして活動してきたが、自治体消防制度の発足からその管理を市町村が行うことになり、活動に対する手当を支給することとなった。災害時や訓練等に出動した場合に出動手当を支給しているが、今後も地域住民の安全確保をしていくために継続した事業を推進していく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	訓練等出動人員	2,095	2,588	1,986	人	↑↑↑	
	②	災害等出動人員	1	94	79	人	↓↓↓	
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 災害の発生件数の増減と連動して災害等出動手当の支給総額も増減する。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		56,053,348	15,479,472	14,939,731				
事業費(b)(円)		7,998,348	11,452,272	11,643,731				
うち一般財源		7,998,348	11,006,272	10,951,731				
職員給与費(c)(円)		48,055,000	4,027,200	3,296,000				
人役・職員(人)		7.00	0.60	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	消防団員の装備の拡充。	③取組における課題(Check)	訓練を充実させ、市民からの信頼をより高いものにする。
②H30に実施した取組(Do)	流山市消防出式 夏季訓練	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	訓練を充実させ消防団の技術向上を図る。